

千葉マリンスタージアム再整備基本構想案（骨子）を公表します ～幕張の「海・風・空」を感じ まちとつながる エンターテインメントスタジアムの実現へ～

千葉市では、竣工から35年が経過し、施設の老朽化や機能面での更新が課題となっている千葉マリンスタージアムの再整備に係る本市の基本的な方針について、「千葉マリンスタージアム再整備基本構想案（骨子）」としてとりまとめましたので、お知らせします。

今後、構想の具体化、実現に向け、千葉ロッテマリーンズを含め、関係者等との協議を進めてまいります。

1 構想案（骨子）で示す再整備の考え方

（1）スタジアム再整備の考え方

現スタジアムの老朽化への対応や機能面の更新に加え、スタジアム再整備により幕張新都心の活力を最大限に引き出し、回遊性の向上や公共空間の有効活用、さらにはアフターコンベンションの充実、スポーツ観戦・体験の機会の拡充など幕張新都心の課題解決につなげていきます。

（2）今後の方向性

幕張メッセ駐車場に、新たなまちづくりの拠点となる屋外型スタジアムを再構築することで、幕張新都心のさらなる魅力向上を目指します。

十分な敷地面積が確保でき、幕張豊砂駅からの交通アクセスに優れ、周辺の大規模商業施設などと相乗効果を生み出すことを見込みます。

なお、幕張メッセ駐車場と同程度の機能・利便性を有する代替駐車場の確保について、県および関係機関と協議を進めます。



建設予定地

2 新たなスタジアムの計画

（1）導入を想定する機能

市民利用が可能な公共施設としてのベース機能（野球やイベント機能、防災機能など）に加え、民間事業者の投資による整備を想定した拡張機能（アクティビティや飲食など）を誘導することにより、365日楽しめ、まちの社交場となる「エンターテインメントスタジアム」の実現を目指します。

（2）整備費について

スタジアムのベース機能で約600億円、周辺インフラ整備等で約50億円と試算し、千葉ロッテマリーンズをはじめとする民間事業者のノウハウを活用するとともに、公的資金と民間資金を組み合わせた資金調達を見込み、本市の財政負担の縮減も図ります。

3 今後の予定

今後は、本骨子をもとに基本構想案を取りまとめ、パブリックコメントを実施したうえで同構想を策定します。策定後は、事業協力者の募集・決定を行い、官民連携で基本計画に着手し事業化の検討を進め、概ね令和16年頃の開業を目指します。

なお、事業協力者の募集に向けて、本事業への参画の意向を確認するとともに、公募条件についての意向等を把握し、民間事業者が参加しやすい環境を整えるために、サウンディング型市場調査の実施を予定しています。

- ・令和7年6月 サウンディング型市場調査の実施
- 7月 パブリックコメントの実施
- 8月 基本構想の策定
- ・令和7～8年頃 事業協力者の募集・決定、基本計画の検討、事業実施の判断
- ・令和9～15年頃 事業者選定、基本設計、実施設計、建設工事
- ・令和16年頃 開業